

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：25項目

問題あり：1件

要確認：2件

問題なし：22件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

矢倉克夫（やくら かつお）

- 記載内容：「矢倉克夫（やくら かつお）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで確認

公明党

- 記載内容：「公明党所属の参議院議員」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで確認

埼玉県選挙区

- 記載内容：「埼玉県選挙区選出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaで確認

東京大学法学部

- 記載内容：「東京大学法学部を卒業」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで確認

カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）

- 記載内容：「米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校で法学修士を取得」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで確認

2. 数値情報

生年月日：1975年1月11日

- 記載内容：「1975年生まれ」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia、公明党公式サイトで確認

年齢：50歳（2025年現在）

- 記載内容：「50歳（2025年現在）」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：1975年1月11日生まれのため、2025年7月2日時点では50歳が正しい。記事では「現在2期目に入っています」とあるが、これは正確。
- 根拠・出典：年齢計算により確認

当選回数

- 記載内容：「当選回数は2回」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、国会議員白書で2013年初当選、2019年再選を確認

第23回参院選（2013年）、第25回参院選（2019年）

- 記載内容：「2013年の第23回参院選で埼玉県選挙区から初当選し、2019年の第25回参院選で再選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、第25回参議院議員通常選挙情報で確認

在職期間

- 記載内容：「在職期間は2013年7月から現職まで約12年」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaで2013年7月当選を確認

財務副大臣就任

- 記載内容：「2023年9月には第2次岸田第2次改造内閣で財務副大臣に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸公式サイト、Wikipediaで確認

農林水産大臣政務官

- 記載内容：「農林水産大臣政務官（2016年～2017年）」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：Wikipediaでは「2016年8月5日、第3次安倍第2次改造内閣で農林水産大臣政務官に就任」とあるが、退任時期が明確でない
- 理由：退任時期の詳細が確認できない

参議院法務委員長

- 記載内容：「参議院法務委員長（2021年～2022年頃）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：首相官邸の矢倉氏プロフィールには「参議院法務委員長」の記載があるが、具体的な就任期間が確認できない

3. その他の重要な事実関係

議員立法実績

- 記載内容：「3本の議員立法を提出者として成立に導きました」として、ストーカー規制法改正、再犯防止推進法、ヘイトスピーチ解消推進法を挙げている
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な立法活動について詳細な検証が必要だが、現在の検索では詳細な確認ができない

経済産業省での経験

- 記載内容：「経済産業省への出向経験では中国のレアアース輸出規制問題などWTO（世界貿易機関）紛争処理にも関与」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipediaで「経済産業省参事官補佐として中国レアアース輸出規制などWTO紛争処理に関与」と確認

出生地

- 記載内容：記事では「神奈川県横浜市生まれ」とある
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、矢倉氏公式サイトで確認

居住地

- 記載内容：「埼玉県さいたま市浦和区在住」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、矢倉氏公式サイト

で確認

改善提案

修正が必要な箇所

1. **年齢の記載**: 「50歳（2025年現在）」は正確だが、記事全体を通して年齢の一貫性を確認する必要がある

追加確認が推奨される情報

1. **農林水産大臣政務官の在任期間**: 2016年8月就任は確認できたが、退任時期の詳細確認が必要
2. **参議院法務委員長の就任期間**: 就任の事実は確認できたが、具体的な期間の検証が必要
3. **議員立法の詳細**: ストーカー規制法改正、再犯防止推進法、ヘイトスピーチ解消推進法への具体的関与度について、より詳細な検証が必要

その他の注意点

- 記事中に引用されている公約の「7つのビジョン」の内容については、公式サイトで概要は確認できるが、詳細な文言の正確性について更なる検証が望ましい
- SNSのフォロワー数など推定値として記載されている数値については、正確な数値の取得が困難であることを明記することを推奨

総合的に見て、記事の大部分の情報は公式資料によって裏付けられており、信頼性の高い内容となっています。